

# 協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL &amp; FAX: 03-3469-6931

URL: <http://www.dhaepa.org/>E-mail: [dha\\_epa@par.odn.ne.jp](mailto:dha_epa@par.odn.ne.jp)

サントリーウエルネス株式会社 塩谷 順也

今年のお盆に、家族で東京都の江戸川区にある葛西臨海水族園に行きました。葛西臨海水族園は世界の魚介類、深海の生物、ペンギン、東京の海に住む魚たちなどを見学できる非常に楽しい水族園です。そして葛西臨海水族園といえば、やはりマグロです。一時期はマグロがいなくなってしまうとニュースになりましたが、今ではたくさんのマグロが大きな水槽の中を回遊していて、当日もたくさんの方が来園していました。ちなみに水族館や動物園、博物館などに行った際には、まずは受付の方に本日のおすすめイベントと見学ルートを教えて頂くことをおすすめします。非常に充実した見学ができます。当日はマグロの餌やり見学→ペンギンの餌やり見学、ウミホタルの発光実験、夜のマグロガイドをおすすめして頂きました。

ということで、さっそくマグロの餌やりを見学しにいくと大盛況で非常に多くの人が集まりつつ、なんとか立ち見になりつつもよく見える場所を確保。水槽中央の上から、イワシやアジ、イカなどが次々と投入されます。マグロは水中にある餌を泳ぎながら食べ、底に沈んだものは食べないそうです。底に沈んで残ってしまった餌は水槽を汚してしまうので、飼育員の方は餌を投入する側と水槽の中を見る側の二人体制で餌が底に沈まないよう、連絡を取りながら餌の投入量を絶妙に調整しているとのこと。マグロは大きく迫力のある魚である一方、飼育について繊細に気をつけないといけないのだなと感心しつつ、目の前で素早く、鋭く、力強い動きで次々と餌を捉える姿は圧巻で、私も含め、見学していた大勢の大人・子供は夢中で大きな水槽を見ていました。今年、幼稚園の年長である6歳の長女は、最近お寿司のマグロが好きで、今回の餌やり見学を通じて普段食べている赤い身のお魚は、元々どのような形をしているのか、何色をしているのか、どんな大きさなのか、どのように泳ぐのか、何を食べているのかを初めて見ることで、実は自分の体よりも大きい魚だったという驚きとともに、魚、そしてマグロに対する興味関心がさらに強くなったようでした。後日、回転すし屋に行くと、マグロの握りを食べながら、マグロについて見たこと、驚いたこと、発見したことなどを嬉々と話していました。

このようにいつも食べている魚を実際に見る、知る、という具体的経験は、普段の食に対する知識と健全な食生活・食育に繋がると、翻って私自身の具体的経験となりました。魚食に関する有用な情報発信とともに、具体的な経験を提供する商品・サービス・機会の大切さを実感した一日となりました。

《幹事会のうごき》 平成29年7月14日(金)16:00~17:00に一般財団法人日本水産油脂協会新館において平成29年度第4回幹事会が開催された。

- ・研修会の開催日を9月14日(木)とし、つくば市にある国立研究法人農業・食品産業技術研究所 食品研究部門を視察する事です承された。
- ・公開講演会について、開催通知の説明と共に、「NR・サプリメントアドバイザー」更新の研修単位取得が可能になる旨の報告があった。